全文検索システム『ひまわり』/利用者マニュア ル/1 6/6.アノテーション内容を集計する

Top / 全文検索システム『ひまわり』 / 利用者マニュアル / 1 6 / 6. アノテーション内容を集計する

言語を選択 ▼

Prev

全文検索システム『ひまわり』/利用者マニュアル/1 6

Next

6. アノテーション内容を集計する ±

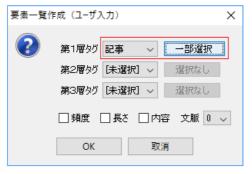
6.1 基本的な利用方法 ±

[ツール]⇒[一覧]⇒[ユーザ入力]で、言語資料に付与されているアノテーション内容の集計を行います。

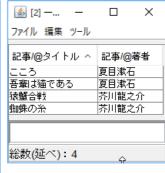
アノテーションは、タグによって記述されているため、タグを指定して集計することになります。例えば、『青空文庫』 サンプルでは、一つの作品に対して、「記事」というタグが付与されています。タグはいくつかの属性を持つことができ、 「記事」には作品名や著者名の属性があります。

『青空文庫』サンプルの「記事」タグを使って、作品一覧を作成する手順は、次のとおりです。

- 1. [ツール]⇒[一覧]⇒[ユーザ入力]で設定用のウィンドウを起動して,下図(左)のように「第1層タグ」のところに, 「記事」を設定して下さい。
- 2. 選択メニューの右のボタンを押すと,下図(中央)のウィンドウが現れるので,「タイトル」「著者」にチェックを入れて下さい。
- 3. 二つのウィンドウの「OK」ボタンを押すと、下図(右)の記事一覧表が作成されます。



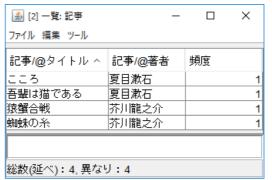




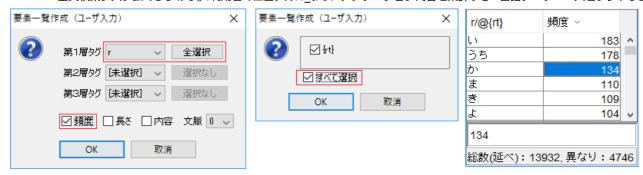
6.2 「頻度」オプション [±]

「頻度」オプションをチェックすると、一覧の各項目の出現頻度を計測することができます。下の図は、「記事」の頻度を表示したものです。『青空文庫』サンプルには、作品は重複して登録されていないため、当然、各作品の頻度は1になります。

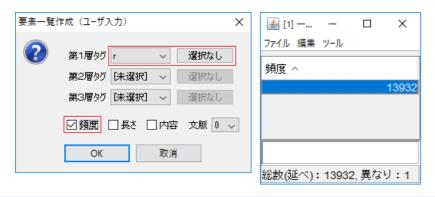




同様に,rタグ(ルビ)に対して,実行したのが次の図です。左図はrタグの属性rtを選択して表示したものです。rt属性には,ルビ本体が記述されているので,頻度付きのルビの一覧を作成することができます。

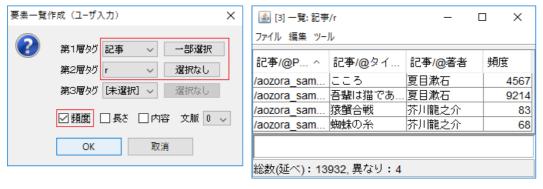


一方,右図は属性を選択しないで表示したものです。この場合, rタグの総数を計測することになります。



6.3 「第x層タグ」の設定 [±]

タグは、「第1層タグ」「第2層タグ」「第3層タグ」に複数指定することにより、タグ間の包含関係を考慮した一覧の作成が可能です。下の図は、「第1層タグ」に「記事」タグ、「第2層タグ」にrタグを指定することにより、「記事」に含まれるルビの数を計測しています。

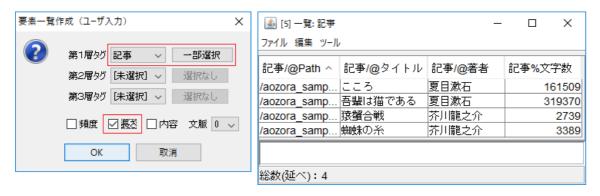


「頻度」は最下層のタグを対象に計測します。上の例の場合は、rタグの頻度を「記事」ごとに計測することになります。

6.4 「長さ」オプション [±]

「長さ」オプションは、タグでマークアップされている文字列の長さを計測します。この際、マークアップされている文字列の中に含まれるタグや空白文字は、すべて長さ0として計測されます。

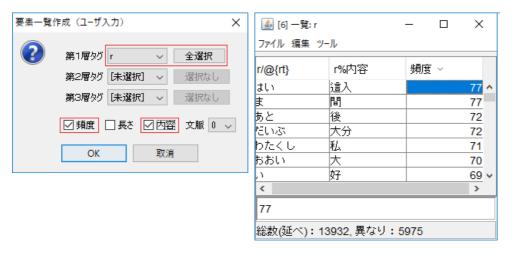
次の例は,「記事」タグでマークアップされている文字列(『青空文庫』サンプルの場合は一つの作品)に含まれる文字数を計測することになります。



6.5 「内容」オプション [±]

「内容」オプションは、タグでマークアップされている文字列のための列を集計結果に追加します。

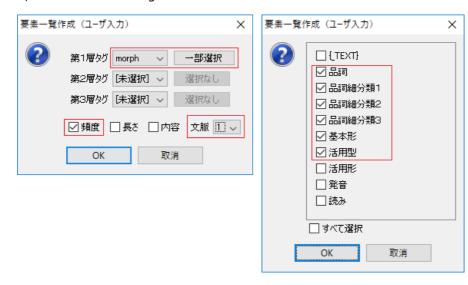
次の例は、rタグでマークアップされている文字列、つまり、ルビをつけられている文字列とルビをペアで集計しています。



6.6 「文脈」オプション ±

「文脈」オプションは、指定したタグのうち、最下層のタグに関して、後続するnタグ分の情報を集計結果に追加します。なお、nは「文脈」オプションで指定した値です。

例えば、『青空文庫』サンプル(形態素解析結果付き)のmorphタグを使って、単語bigramを作成してみます。morph タグは「単語」をマークアップするためのタグです。「文脈」オプションの値は1とします。また、あわせて、「頻度」オ プションもチェックします。この場合、後続する1単語をペアにして計測することになるので、bigramが得られることになります。ただし、『ひまわり』の内部では、作品の最後の単語の次の単語は、次の作品の先頭の単語として、記述されているため、一部不要なデータbigramの定義に沿わないデータが含まれることに注意して下さい。



結果は、次のとおりです(一部の列のみ表示)。これを見ると、最も出現頻度の多いのは、「た」+「。」であることがわかります。morph[0]、morph[1]がそれぞれ1番目、2番目の単語を表します。



6.7 外部アノテーション結果の表示 🕇

形態素解析結果など、外部アノテーションが施されている資料(言語資料の選択時に「外部DBあり」の資料)では、SHIFTキーを押しながら、検索結果をダブルクリックすると、当該の作品の外部アノテーション結果が一覧表示されます。

次の例は、『青空文庫』サンプル(形態素解析付き)で、「我輩」を検索し、その中の一つをSHIFT+ダブルクリックした結果です。1 行 1 形態素で、「_TEXT」列が本文に相当します。

ファイル 編集 ツール								
SER.NO. ^	_TEXT	品詞	品詞細分類 1	品詞細分類2	品詞細分類3	活用型	活用形	
00000001	_	名詞	数					^
00000002		記号	空白					
00000003	吾輩	名詞	代名詞	一般				
00000004	lt	助詞	係助詞					
00000005	猫	名詞	一般					
00000006	で	助動詞				特殊・ダ	連用形	
00000007	ある	助動詞				五段・ラ行ア		
80000000		記号	句点					
00000009	名前	名詞	一般					
00000010	lt	助詞	係助詞					
00000011	まだ	副詞	助詞類接続					
00000012	無い	形容詞	自立			形容詞・アウ	基本形	
00000013	۰	記号	句点					
00000014		記号	空白					
00000015	どこ	名詞	代名詞	一般				
00000016	で	助詞	格助詞	一般				
00000017	生れ	動詞	自立			一段	連用形	
<	1	AL 715-				11 + - L	++ + +	>
00000003								

Last-modified: 2018-07-18 (水) 12:25:07 (44d)

Site admin: anonymous

PukiWiki 1.4.7 Copyright © 2001-2006 PukiWiki Developers Team. License is GPL. Based on "PukiWiki" 1.3 by \underline{yu} -ji. Powered by PHP 5.1.6. HTML convert time: 0.306 sec.